The Naha Women's Center

発行：那覇市総務部平和交流・男女参画課/なは女性センター
〒900-0004 沖縄県那覇市銘苅2−3−1（なは市民協働プラザ１F）
TEL.098-951-3203 FAX.098-951-3204
Email:s-heidan002@city.naha.lg.jp

2026年11月発行

なは女性センターだより 368号

なは女性センター市民講座

DV加害者プログラムから学ぶ 暴力のない社会

～もう、被害者を出さないために～

11月12日−25日
女性に対する暴力をなくす運動

2026木曜日
11.19
14:00-16:00
なは女性センター

対　象	関心のある方
定　員	50名 事前申込／先着順
参加費	無料

※那覇市在住・在勤・在学の方は、手話通訳、一時保育を利用できます。ご希望の場合は11月9日(月)までにお申込みください。

◀お申込み

または、 なは女性センター
098(951)3203 までお電話ください

DV加害者に
相手を尊重すること
非暴力でジェンダー平等の価値観
を気づいてもらうためには･･･

DV被害者が
自分の人生を歩む
チカラを取り戻すには･･･



講師
一般社団法人アウェア 副代表
志堅原 郁子さん

アウェアのDV加害者プログラム・被害女性プログラム・実施者養成の統括及び各種講座の企画運営を担う。デートDV防止プログラムファシリテータートレイナー。
那覇市出身。新聞記者を経て米国留学し、州立サウスカロライナ大学大学院でジャーナリズム修士号取得。同大学院で非常勤講師、同州日本人学校で教師を務めたのち札幌へ。2004年からジェンダーを基軸とする講座を主に教育機関で実施。
現在、北海道大学非常勤講師。

女性に対する暴力をなくす運動

暴力は、その対象の性別や加害者、被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありません。特に、女性に対する暴力の根底には、女性の人権の軽視があることから、女性の人権の尊重のための意識啓発や教育の充実を図る運動です。

パープルリボン
女性に対する暴力のない世界を望む気持ちを表す運動のシンボルとして、世界中に広がっています

パネル展
2026年
11/10(火)▶27(金)
なは女性センター入口
▶女性に対する暴力の実態
▶相談窓口のご案内
▶女性に対する暴力根絶を願ったメッセージツリー

デジタルサイネージ
2026年
11/2(月)▶29(日)
那覇・国際通りで実施!!





令和8年度 内閣府啓発バナー

ご案内

若者のための身体・性・心の相談窓口 ユースクリニック 開催します！

※7月開催予定でしたが、台風のため延期となり、振替で開催します

日 時：2026年11月21日(土) 11:00～15:00
会 場：なは女性センター交流室



若者が抱える悩みや不安に対して、
産婦人科医・助産師・看護師・思春期保健相談士
などの専門家が様々な相談に応じます

対 象
10代～20代の若者
（性別は問いません）

相談無料　予約なし　見学自由

見学可能
包括的性教育に関心のある保護者・教育関係者
支援団体職員 など

展 示
- 生理グッズ
- コンドームの付け方
- 妊娠 胎児人形
- 包括的性教育 関連本
- デートDV チェック

身体や性の悩み
月経／妊娠／性
ジェンダー／身体の変化　など

心の悩み
パートナー・友人・家族などの人間関係
人との関わり方など

その他の悩み
誰かに聞いてほしいな
なんとなく不安
誰に相談していいか分からない

クイズ＆アンケートに答えると
お好きな**生理用品やコンドーム**が**プレゼント！**

かるたやすごろくで楽しく学ぼう！



その他のユースクリニックメンバーも相談対応しています！

気軽にお越しください



深津真弓さん
産婦人科医
美らうみユースクリニック代表
沖縄県内で産婦人科医として病院勤務をする傍ら、2023年より若者のための相談窓口「美らうみユースクリニック」を立ち上げ、地域や学校へ訪問して様々な悩みに対応している

講　座

親子でトライ！ 我が家のジェンダーチェックとお金の話

■ 日時：2026年 12月19日(土) 14:00 ～ 16:00
■ 講師：なは女性センタースタッフ ／ 金融経済教育推進機構(J-FLEC)

<u>やりたい仕事に就きたい。なりたい人になりたい。</u>

性別関係なく、自分らしく生きるためのヒントが盛りだくさん！
ジェンダー平等や人生設計にかかわるお金について、
親子で一緒に考えてみましょう！



第１部　我が家のジェンダーチェック
講師：なは女性センタースタッフ
内容：ジェンダーと職業について考えよう！

第２部　将来に役立てるお金の話
講師：金融経済教育推進機構（J-FLEC）
内容：お金の使い方、流れ、貯め方と人生設計
　　お金のトラブル

金融経済教育推進機構(J-FLEC)
特別の法律に基づき国の認可を受け、中立・公正な立場から、官民一体で金融経済教育を推進する唯一の公的機関(金融庁所管の認可法人)

対象／定員	受講料	ご持参
小学校3～6年生 15名 ＋ 保護者	無料	色えんぴつ（5色程度）

那覇市在住・在勤・在学の方は、
【手話通訳】【一時保育】をご利用できます。
12月11日(金)までにお申込みください
※一時保育は、未就学児のみで、
受入人数に限りがあります。

▼お申込み

または、 なは女性センター
098(951)3203 までお電話ください

講座報告　三木 健 が語る“なは おんな”金城芳子

■ 日　時：2026年 9月12日(土) 午後2時 ～ 4時
■ 講　師：三木 健 さん　（ジャーナリスト／沖縄現代史研究者／元琉球新報記者）
■ 聞き手:河原千春 さん（ジャーナリスト／法政大学沖縄文化研究所奨励研究員）

明治・大正・昭和の時代を生き抜いた金城芳子は、波乱万丈な人生を送った“なはおんな”でした。1967年に琉球新報の「ある生活」という記事では、金城芳子が紹介されており、そこには**「子供の“代弁者”を30年」**との見出しが付けられていました。記事には、「東京都中央児童相談所の相談員をしていた頃、子どものことでさまざまな相談に訪れる人々に対し、適切なアドバイスを行っていた。その対応ぶりは、長年この道を歩んできた者ならではの自信と愛情に満ちていた」と記されています。



「これがだめなら、また次の方法を考えましょうーこの何の変哲もない言葉こそ、金城さんが長年の人生経験から得た“人生哲学”なのかもしれない。そこには沖縄の女性の年輪が刻み込まれている。電車のひとごみの中に、金城さんは消えていったー」と、三木さんは『沖縄を語る―金城芳子対談集―』（ニライ社、1988年発行）の中で述べています。

三木さんは、「話だけでは残らないので、記録として残すことが大切だ」と力強く語ってくださいました。



今回の参加者の中には、1963年から1967年まで芳子さんの「賄い付きの下宿」でお世話になった方もいらっしゃいます。その方は、芳子さんから「うちなぁんちゅだからといって卑下することなく、堂々と話しなさい」と教わったと語ってくださいました。芳子さんから、自己肯定感を高め、誇りを持って行動すること、そして女性が仕事を持つことの大切さを学んだとのことです。

本講座には49名の参加者があり、芳子さんについて活発な意見交換が行われたなかで、芳子さんの人となりが立体的に伝わってきました。

\受講者の声/

- ●ポジティブに物事を捉えてチャレンジする姿、見習いたいです（30代）
- ●金城芳子さんは、辻の女性たちへの見方が単に犠牲者としてではなく働く女性として尊敬していたところがあり、今の売買春に関する法改正の議論への大切な視座をもたらして下さるように思いました（50代）
- ●明治の女性は自由闊達な気風に溢れている印象をもちました（70代）

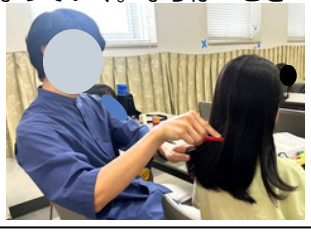
講座報告　パパは美容師　～挑戦！こどものヘアアレンジ～

■ 日時：2026年9月26日(土) 午前10時 ～ 12時
■ 講師：渡久地政一郎 さん（専修学校ビューティーモードカレッジ　美容科講師）



男性の家事・育児への参画を促進するための学習機会として、多岐に渡る育児の中から「こどものヘアアレンジ」に挑戦しました。「三つ編みってどうやるの？」「いつも妻に任せっきりだったので」など“ヘアアレンジができるようになりたいパパ”たちが集結。そして、パパと一緒にお子さんたちも参加です！もちろんママも隣で応援。

講師より衝撃的な内容が！「わが子と過ごせる時間はどのくらいでしょう？」 なんと、父親に与えられた時間はわずか約３年４ヵ月（※母親は約7年6ヵ月）だそうです。この数字にパパたちからどよめきが起こりました。こどもと過ごす時間は少なくなっていく。ならば「こどもと一緒にいられる時間を楽しみましょう！」の一声から講座がスタート。



こどもの髪は油分が少なく、短い生えかけの毛が多いのでまとまりにくい。「まとまらない髪もデザインの一部として楽しんでください」と講師は笑顔で伝えます。



※写真掲載について、ご本人の承諾をいただいています。

後半は実技です。今回は講師のお子さん(６歳)がヘアアレンジモデルとして参加してくれました。はじめは、三色の毛糸を使って、三つ編みの練習。次は実際にお子さんの髪の毛でチャレンジ。上手くできないパパたちが続出。講師が廻ってマンツーレッスン。三つ編みの次は、ポニーテール、三つ編みのお団子、編み込み、くるりんぱ。次第に、おとなしく座っていたお子さんも動き始め、そこに手間取るパパ。しかし、「2人の時間を楽しもう」と教わったので、親子でじゃれ合っている光景であふれていました。

閉講後、「指が疲れました。練習します！」と話すパパ。「これから、そのまま家族で遊びに行ってきます」とオシャレになった我が子と帰っていく姿に、お子さんとの触れ合いを楽しむパパが増える予感がしました。

\受講者の声/

- ●渡久地先生が娘さんと過ごす日を大切にされているとのこと。父としての思いに共感します。娘は「一緒に過ごす時間の話」の時に笑っていました。これからも丁寧に大切に過ごしていきます（40代）

相談室「ダイヤルうない」

周囲に話せる人がいない、自分の気持ちをわかってもらえない。
そんな時「ダイヤルうない」を利用してみませんか。生きがい、家庭の問題など、さまざまな相談に応じ、自分の意志で人生を選択するために情報提供し、サポートします。

●電話相談（性別に関わらず、どなたでも）
●面接相談（女性のみ・要予約）※
●法律相談（女性のみ・予約制）※
※那覇市在住・在勤・在学の方に限ります

☎ 098-861-7515

相談時間▶月～土 午前9時～12時 / 午後1時～5時

面接相談 二次元コード

相談室「ダイヤルうない」の面接相談の申し込みはオンラインでもできます！

面接相談のオンライン申し込みは、仮予約です。正式な面談日は相談員から、お電話いたします。

性の多様性に関する相談

あなたが「自分らしい生き方」を自らの意思で選択できるように一緒に考えます。
どなたでもご相談ください。

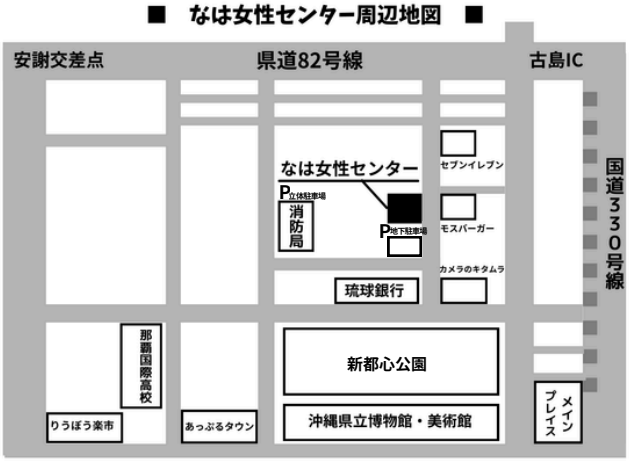
ストップ・DV 情報提供

相談室「ダイヤルうない」では、ドメステック・バイオレンス（DV）で悩む方を支援するための情報提供を行っています。詳しくは相談室「ダイヤルうない」へお問合せください。

駐車場のご利用

「なは市民協働プラザ」の地下駐車場と消防局隣の「ナハメカルパーキング」をご利用ください。
ご利用は有料です。センター利用者は料金の一部が免除されますので「駐車券」を事務室にお持ちください。

■ なは女性センター周辺地図 ■



センター利用者駐車場利用	一部免除した後の料金
最初の２時間まで	100円
最初の２時間を超え1時間ごと	100円

那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録

那覇市パートナーシップ・ファミリーシップに登録される方へ「登録証明書」および「登録証明カード」を交付しています。
詳しくは、なは女性センターまでお問合せください。

※すでに登録された方へも「登録証明カード」の交付ができます。



2026年11月1日現在
登録数 87 組
うちファミリーシップ 5 組

レインボー交流会

「交流の場がほしい」「性の多様性について語りたい」といった声から生まれた誰でも参加できる交流会です。

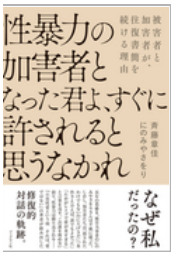
名前やセクシャリティなど、話したくないことは話さなくても大丈夫。
多様な性を尊重する方なら、どなたでも歓迎します。

日　時：2026年12月12日（土）14:30～16:30
会　場：なは女性センター学習室
参加費：無料
予　約：不要
主　催：市民団体てぃーだあみ
メール：tiidaami.okinawa@gmail.com

ホームページ　Facebook　instagram

新着本紹介

書籍 ：性暴力の加害者となった君よ、すぐに許されると思うなかれ
　　被害者と加害者が、往復書簡を続ける理由
著者 ：斉藤 章佳・にのみや さをり
出版 ：ブックマン社
発刊 ：2024年9月6日



性加害者の再犯防止に取り組む斉藤章佳さんは、加害者が責任を感じるには被害者の「その後」を知ることが必要だと気づきました。被害者のにのみやさをりさんは「加害者と話がしたい」と伝え、両者の間で前例のない「修復的対話」が始まりました。「なぜ私が被害にあわなければならなかったのか」という被害者の問いに向き合いながら、互いの心を理解し合い、憎しみの連鎖を断ち切るための貴重な記録です。



開館時間
月～金：午前９時～午後９時
土曜日：午前９時～午後５時

休館日
日曜日・祝日
慰霊の日（6/23）
年末年始（12/29～1/3）

ホームページ　Instagram

follow us